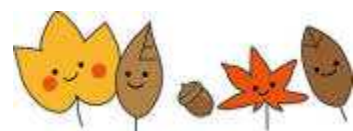


野ばら 11月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2014年10月31日(金)



いつも喜んでいなさい

校長 夏見隆晴

今月のタイトル「いつも喜んでいなさい」は、朝の祈りの中で時々歌われる聖歌の出だして「たえず祈りなさい」と続きますが、出典はテサロニケ人への手紙第一の5章です。歌いやすい歌でわたしも好きな曲です。でも「いつも喜んでいいる」とは、一体どういうことなのかと、考え込んでしまいました。言葉が持つ意味とは、当然のことなのですが、それほど単純ではないのだと、改めて考えなおしてみることにしました。

辞書で「喜ぶ」に当たってみると、「喜ぶ」を表す表現という項目があって「うれしく」思うと記されていました。これで皆さんは納得できるのでしょうか。「いつも嬉しく思っていなさい」なんて歌を歌う気持ちになりますか。この歌は、どうしても「喜んでいなさい」でないとだめなのです。言葉というものは、どうしても置き換えることができない時があるということをおぼたしたちは理解しておく必要があります。

では「喜ぶ」と「嬉しい」の間にはどのような違いがあるのでしょうか。確かにわたしたちは「嬉しい」と思わず叫ぶこともあります。それはどのような時でしょうか。欲しかったものが手に入った、これは嬉しいことです。あるいは、長い間願っていたことが叶った、これも嬉しいことと言えるでしょう。ということになれば、「嬉しい」と思えるためには常に何か「叶う」とか「手に入った」という事実が必要になります。

ところで、わたしたちは「本当の喜び」という言葉も持っています。確かに、わたしたちは自分の周囲に多くの人たちが居てくれ、物に不自由するというような事がなければ、嬉しく感じるし、喜ばしいことだと誇りに思うかもしれません。でもこのような人や物は容易に手元から離れていくことも、すでに幼児期から身を持って思い知らされてきました。このようなことを「本当の喜び」としていくわけにはいかないでしょう。

それではイエス・キリストの言う「いつも喜んでいなさい」というのは、どのようなことなのでしょう。それは、わたしたち一人ひとりの誰もが神様から命を頂いた存在であり、神様から愛されているものであるという、「自分は自分である」ということを常に「喜ばなさい」ということなのです。若い時には、自分に対して自信を持ってない場合があります。そんな若者たちこそ、このメッセージを大切にしたいものです。

それなら、続く「たえず祈りなさい」についても、これは単なる「願い事」ではない、もっと深い意味があるの考えるのが当然でしょう。「祈る」とは、神さまと「対話」することなのです。その場合、神様とわたしたちの「思い」は異なった場合があるかもしれません。いや異なっているからこそ「たえず祈る」ことで、神様の思いを誤解することを避けることができるのです。神様への感謝が絶えることのないように祈ります。

11月のカトリック中学高等学校

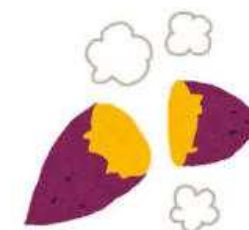
さて、気候もだいぶ涼しくなった今月は文化祭の月です。11月3日に向けて用意を整えてきた生徒達も、教室展示や学習発表、舞台発表などで大活躍です。学校の中で友達同士・先生方との交流の様子を見る良い機会を捉えて、是非ご覧になって頂きたいと思います。友達同士で話をするとき、どのような言葉を我が子が使うか、先生方と話するときはどうかなど、実際ご覧になり、お感じになれる事の出来る数少ないチャンスと思います。

私が彼らの年頃の頃は、友達同士で使う言葉と、目上の人に対する言葉遣いなどの違いを、注意されながら少しずつ覚えていった記憶があります。生徒達のたどたどしい敬語を聞きながら、中学生の時に受けた国語の授業を思い出します。謙譲語・丁寧語など勉強し、定期試験でもそれを問われました。生徒達の中の話声にそっと耳を傾けてみて下さい。そうしたちょっとした風景からも、日頃の活動の様子を想像する事ができるはずです。

また、11月の最後の週は、「王であるキリスト」「待降節第1主日週」になってきます。教会の暦が最初に戻る時で、このあたりからクリスマスに向けての準備活動が本格化してきます。聖誕劇やクリスマスキャロル等に向けての準備です。それぞれの学年で違う取り組みをしていきますので、そちらの方もよろしくお祈りします。

そして、生徒たちにとって忙しい中でも気にかけて、準備を進めなければならない、12月の初めに行われる、第4回定期試験についても、心に留めておきましょう。なにかと忙しい年末へと向かって時計は進みますが、体調に気を付け、万全を期していきましょう。

音楽科：石垣真秀



11月の予定

日・曜日	行事計画
1日(土)	文化祭準備(全日)
3日(月)	文化祭
4日(火)	振替休日
5日(水)	午前・文化祭片づけ 午後・11/1午後の分振り替え休み
8日(土)	Bene 駿台記 6年生 希望者模試
12日(水)	委員会活動
15日(土)	クリスマス会活動
17日(月)	授業参観
19日(水)	職員会議
22日(土)	PUP 職業体験(中1・中2)クリスマス会活動
23日(日)	勤労感謝の日
24日(月)	振替休日
29日(土)	推薦入試 家庭学習日

生徒の頑張り！



當山礼恵アン(中2)さんが、高円宮杯英語弁論大会沖縄県予選大会で最優秀賞に！

高円宮杯第66回全日本中学校英語弁論大会沖縄県予選大会は、10月13日(月)に沖縄産業支援センターで開催され、中頭地区1位の當山礼恵アン(中2)さんが、見事、最優秀賞に輝き、沖縄県代表として東京はよみうり大手町ホールにて行われる決勝予選大会に出場することが決まりました。

さらにそこで27名に選出されれば、決勝大会への進出となります。

昨年は上江洲まりの(現高1)さんが決勝大会まで進んでおり、是非とも先輩に続き、活躍して欲しいと思います。

皆さん、応援よろしくお祈りします。

見事優勝し、優勝旗を横に賞状を持つ當山さん

沖縄県予選大会の弁論



外間栄美さん(中2)が、全琉コンクール書道の部で最優秀賞に！

沖縄タイムス社主催第62回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクールの書道の部で、外間栄美さん(中2)が、最優秀賞(第1位)に輝きました。

おめでとうございます！

今回、最優秀賞を受賞した外間栄美さん(中2)



文字・活字文化コンクールで上江洲まりのさん(高1)が大賞に、また向井大一夢君(高2)と上原凜さん(高1)も上位入賞。

第9回文字・活字文化大賞県青少年意見文・小論文コンクールにおいて、上江洲まりのさん(高1)が大賞(最優秀賞)を受賞しました。

また、上原凜さん(高1)が沖縄タイムス社賞、向井大一夢君(高2)も審査委員長特別賞を受賞するなど、本校生徒の活躍が光りました。

おめでとうございます。



なお、上位作品は11/12付け沖縄タイムスの特集号に掲載されます。

